

## 7 令和4年度かねやまホームデイサービスセンター事業報告

### 《基本事項》

住み慣れた地域でご本人、ご家族の意向に沿った暮らしを実現するために、潜在的なニーズを把握して必要とされるサービスが提供できる事業所づくりに努める。また、随時、業務の見直しと改善を実行し、効率化の向上と共に安定した運営を目指す。

### 《重点事項》

#### 1. 安定した利用実績を目指す

- ① 各支援事業所に新規利用者の獲得のための働きかけを継続して行っていく。
- ② 各支援事業者と連携して、個々の状態に合わせた適切な利用回数の提案やキャンセル待ち、利用日振替の調整により稼働率の向上を図る。
- ③ 利用日当日のキャンセルを減少させるための取り組みを継続し、欠席せずに個々の計画に沿った利用を実現する。

利用延総数が4,247人、1日平均で16.78人のご利用があり、新規のご利用は14件あった。特養の新型コロナウイルスの影響を受け、通常の営業ができなかった9月、12月、1月は利用実績の落ち込みが大きく、年間の目標値は達成できなかった。

一方で、事前に欠席の連絡があった際には利用日変更の提案や他のキャンセル待ちの方に利用して頂けるように調整を行った結果、利用のキャンセルは初めて1割未満に押さえることができた。

#### 2. サービス内容の充実を図る

- ① コロナ禍により外出等の活動が制限される状況にあるが、楽しみを感じながら利用を継続して頂けるように新たな発想で企画立案をしていく。
- ② 食費に係る経費の見直しを継続し、ご利用者からの意見も反映させて満足感を持って利用して頂けるように進める。

地域で開催された作品展覧会への出品を2回行い、生きがい作りと間接的ではあるが地域の人達との交流の機会を持つことができた。また、利用日カレンダーにご利用者が撮影した写真を掲載すると共に、翌月の行事が分かり易いようにイラストを取り入れ、楽しみにつながるように工夫した。食費についてはこれまで単独で行っていた行事食やおやつを提供を行事や誕生会と組み合わせることで、経費の削減に努めた。おやつ作りにおいてはご利用者の希望を取りまとめて実施すると共に、差し入れがあった食材を活かした内容にするなど、季節を感じながら楽しんで頂くことができた。

### 3. 感染症予防の取り組み

① 職員各自が「新型コロナウイルス感染防止マニュアル」に沿って感染症予防の意識を高く持ち、確実な行動がとれるように徹底する。

② ご利用者へ感染予防の啓発を繰り返し行うと共に、利用時以外の行動や環境についても各支援事業所と情報を共有して、適切な対応を取れるようにしていく。

ご利用者の家庭内での感染が複数件あったことを踏まえ、感染を持ち込まないようにデイサービス独自の対応マニュアルを作成した。職員各自が感染予防の意識を高く持って行動し、関係者との情報交換を密にして対応したことにより、業所内での感染発生はなく経過した。